

※公募の詳細については、公募機関(AMED)のwebサイトで必ず確認してください。

(H29.05.02現在)

【H29年度日本医療研究開発機構(AMED)研究費】

【公募締め切り・事業紹介リンク先】

【「革新的がん医療実用化研究事業」に係る公募(2次公募)】

平成29年5月31日(木)正午【厳守】
○提出方法:e-Rad

<http://www.amed.go.jp/koubo/010320170419.html>

【公募課題概要】

	研究費(年間) (間接経費を含む)	研究期間	採択件数	公募する研究内容、求められる成果等
革新的がん医療実用化研究事業				
領域1 がんの本態解明に関する研究				
(領域1-5) 膵・胆道系のがんやスキルス胃がん等の難治性がん※の治療抵抗性の克服に資する研究 ※難治性がん: 現在の診断・治療では治療が難しいとされるがん	20,000~30,000 千円/課題	原則3年 度	0~3 課題程 度	【公募内容】 難治性がんの治療抵抗性を克服するための革新的な方法論に基づいた治療法の提案とその有効性に関する研究を募集します。特に、先端的オミックス解析技術を活用して得られるがん細胞・間質・免疫系などの多様な観点からの知見を統合し、難治性がんでの治療抵抗性の機序の新たな理解に基づいた治療標的の同定や創薬シーズの探索・検証を行う課題を募集します。 【求められる成果】 難治性がんについて、得られるオミックスデータや免疫解析データを集積し、がん組織と宿主の相互作用を含めた様々な解析結果を統合して治療応答性・抵抗性に関する新たな機序を明らかにすることが求められます。また、その結果に基づいて得られた標的分子の臨床的有用性を、既存の疾患コホートバンクや治療前後の臨床試験を用いて検証することが求められます。さらに得られたシーズに関しては、臨床導入を考慮した動物モデル等を用いてその有用性を検討し、終了時までに提案された治療法の有効性を非臨床レベルで実証することが求められます。
領域2 がんの予防法や早期発見手法に関する研究				
(領域2-4) がんの予防法や新たな検診手法の実用化をめざした大規模疫学研究	30,000~60,000 千円/課題	原則3年 度	0~2 課題程 度	【公募内容】 これまでの小規模な観察研究や介入研究で抽出・実証されたエビデンスに基づく予防介入や検診手法について、その有効性を検証するための大規模疫学研究を実施する研究課題を募集します。 【求められる成果】 有効性の指標は、死亡率減少効果を原則としますが、研究期間に応じて終了時に評価可能な短期指標の設定が求められます。さらに、我が国のがん対策の政策決定に資する科学的根拠を提供することが求められます。 採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーンを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。
領域3 アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤開発に関する研究				
(領域3-1, 3-2) 革新的がん診断・治療薬の実用化に向けた科学的根拠の補強および次相への展開を目指した研究	20,000~30,000 千円/課題	最長2年 度	0~3 課題程 度	【公募内容】 日本のアカデミア発の研究成果(知的財産を含む)を基にした革新的な医薬品の創出へ向け、希少がん、小児がん、難治性がんのための分子標的薬や核酸医薬等のがん治療薬の開発またはがん免疫療法等の新たな治療法の開発(コンパニオン診断薬を含めて)において、次相への展開(非臨床 POC の取得や GLP 毒性試験、GMP 製造、医師主導治験などへの移行)が困難な状況に陥っているものの、その科学的根拠を補強することで次の段階に進むことが可能になると見込まれる研究開発課題を募集します。 【求められる成果】 現在開発を進めている課題について、どこに問題を抱えており、何を改善することで、非臨床試験や医師主導治験への移行もしくは企業治験への導出が飛躍的に進むかが明確に示されており、期間内に克服できることが求められます。採択にあたっては、上記の成果に至るマイルストーン(採択後、支援期間終了時点でのゴール)および実用化のゴール(最終的な目標に対するゴール)を緻密に計画し明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことにご留意ください。
(5) 領域5 新たな標準治療を創るための研究				
(領域5-3) 科学的根拠に基づくがんの支持療法/緩和療法の開発に関する研究	5,000~10,000 千円/課題	最長2年 度	0~2 課題程 度	【公募内容】 がん支持療法・緩和療法における研究ポリシーの確立を目指した研究 【求められる成果】 がん支持療法・緩和療法の研究の方向性ならびに方法論を示し、科学的根拠に基づく本領域の今後の研究の指針となるものを策定することが求められます。

(6) 領域6 ライフステージやがんの特性に着目した重点研究				
(領域6-1, 6-2) 希少がんの臨床研究 プロトコル作成のための研究	3,000~5,000 千 円/課題	原則1年 度	0~10 課題 程度	<p>【公募内容】</p> <p>本公募では、少数施設における症例登録が困難であることから、オールジャパン体制による大規模な臨床研究が必要とされる希少がん(小児がん・AYA世代がんを含む)の臨床研究プロトコル作成のための研究課題を募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>希少がん(小児がん・AYA世代がんを含む)の臨床研究のプロトコルの完成が求められ、次年度の早い時期に開始ができる見通しが立っていることが求められます。</p>
若手育成枠				
1) 分子基盤に基づいた革新的がん診断・創薬等の開発に関する研究(領域1, 3, 4) [若手育成枠A]	10,000 千円 /課題	最長3年 度	0~10 課題 程度 (A・B合わせ て)	<p>【研究内容】</p> <p>将来において本事業の領域 1, 3, 4 に関する研究分野での活躍が期待される若手研究者の育成をめざし、がんの臨床的特性の分子基盤に基づいた診断・創薬・医療機器開発等に関する研究を幅広く募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>研究期間の終了時に、新たな標的分子等の候補について一定程度絞り込みに成功していることが求められます。</p> <p>採択にあたっては、成果に至るマイルストーンおよびロードマップを明示していることを重視します。なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>
2) がん予防・診断・治療法等の開発に関する臨床研究(領域2, 5, 6) [若手育成枠B]	10,000 千円 /課題	最長3年 度	0~10 課題 程度 (A・B合わせ て)	<p>【研究内容】</p> <p>将来、本事業の領域 2, 5, 6 に係る臨床試験を伴う研究等において活躍が期待される若手研究者の育成をめざし、その第一歩として、領域 2, 5, 6 に係るがんの予防・診断・治療法(支持療法含む)等の開発に関する質の高い臨床研究またはデータベース研究を幅広く募集します。</p> <p>【求められる成果】</p> <p>原則、研究期間の終了時に、臨床研究を完遂していることが求められますが、必須条件ではありません。実現可能な目標到達点を設定し、当該目標の最終年度までの達成が求められます。</p> <p>採択にあたっては、成果に至るマイルストーンおよびロードマップを明示していることを重視します。</p> <p>なお、研究プロセスにおける不確実性を踏まえ、科学的・合理的な理由により研究期間中に研究計画を変更することを妨げる趣旨ではないことに留意してください。</p>